

剣淵中学校、剣淵高等学校 でタウンミーティングが 開催されました

剣淵中学校で10月17日、タウンミーティングが開かれ、まちづくりについて生徒と町長が意見を交わしました。

3年生は社会科の授業で地方自治について学んでおり、これまで町の財政や合併問題などについて学習してきました。

生徒らはふるさと納税や人口減少対策について「移住者向けのサービスはどのようなものがありますか」と質問し、早坂町長は中小企業UIJターン奨励などの補助制度があることなどを説明しました。

人口減少対策については、6次産業化で雇用を確保できるよう取り組んで行きたいと答えていました。

また、生徒らは地方自治の学習についての感想も述べ、「剣淵町の町民の一人として、まちのこと



をこれからも考えていきたい」と話していました。

また、剣淵高校でも10月28日、タウンミーティングが開かれ、まちづくりについて生徒と町長が意見を交わしました。

出席したのは生徒会役員の8名で、就業人口の増加策についての質問に対し、早坂町長は「農業は家族経営が多く、福祉分野では事業所の数が少ないけれど、様々なサポートをして行きます」と回答しました。また、絵本の館について、女子生徒は「絵本だけでなく小説などが増えれば私たちの年代の利用も増える」と提言がありました。早坂町長は「一般図書はリクエストを重視しているので、読みたい本があれば積極的に要望してほしい」と呼びかけました。

このほか生徒からは少子化対策や幅広い年代が参加できるボランティア活動の拡充などを求める意見が出ていました。

剣淵町キャンペーンガール
ぷっちなが行く!

© 剣淵町

「ぷっちなの小部屋」
<http://vir2.eolas.co.jp/puchi-na/>

